

東白石通信

東白石まちづくり実践会
とんぱくニュース
札幌市白石区本通13丁目南10-1
東白石まちづくりセンター内
TEL861-9262 FAX861-4369

年頭にあたって



東白石地区町内会連合会 東白石まちづくり実践会 会長 山中 忠典

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられた事と存じます。

昨年は年初から新型コロナウイルスの脅威が発生し、瞬く間に全世界に蔓延した年でありました。

国内外の観光客が多数訪れていた北海道においても感染者数が徐々に増加する中、2月末には道知事による緊急事態宣言が発表された事は、記憶に新しいかと思ひます。

ここ東白石地区においても、人と人との接触を避けるべく、町連総会は書面表決となった他、町内会などの各種行事や会議等もやむを得ず中止となるなど、振り返ればやりたい事が十分出来ない1年であったと思っておりますが、こうした中でも、防犯パトロールと青色灯パトロールは皆様のご協力により継続して実施することが出来、地域の防犯に途切れ無く取り組めた事を嬉しく思っております。

また、白石区内における一部施設でクラスターが発生したケースもありましたが、令和2年10月時点では東白石地区では幸いにしてクラスターの発生はありませんでした。これも地区の皆様一人ひとりが感染に気を付けて、予防に努めて頂いた結果であると思っております。

新型コロナウイルスが今年どのような状態になるかは解りませんが、出来る限り例年どおりの年間行事を策定し、コロナに負けない活動を実施して行きたいものです。力を合わせて明るい、楽しい地域づくりに励んでまいりましょう。

新年ご挨拶



東白石まちづくりセンター 所長 藤瀬 弘泰

新年明けましておめでとうございます。東白石地区の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、昨年は東白石地区のまちづくり活動に多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私が昨年4月に東白石まちづくりセンターに着任しまして、早9カ月が過ぎました。私はこれまで地域団体や町内会の方々と連携したまちづくりの仕事に携わった機会が少なかつたため、着任前はやや不安な気持ちを持っておりましたが、着任以降、東白石地区の皆様からの温かいお力添えを頂きながら仕事を進めることが出来ました。重ねて御礼申し上げます。

さて、昨年の出来事を振り返りますと、やはり一番の大きな出来事は「新型コロナ感染症の拡大」になるかと思ひます。白石区においてもここ東白石地区を始め、殆どの地区の行事が中止となり、ずいぶん寂しい年となったと感じる方も多いことと思ひます。

コロナ感染症については、未だ収束に至らないところでありますが、これまで多くの方々のご尽力で進められてきた様々な取組が停滞することがないよう、今後は感染症対策を図りつつ、少しずつコロナ感染症拡大前の日常へ戻していくことが必要です。

東白石地区のまちづくり活動に携わっている方々を始め、東白石にお住まいの皆様には今後ともご不便やご不自由をお掛けする点があるかと思ひますが、活気のある東白石地区へ向けて、微力ながら皆様の活動を支援してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍の町内会活動

感染対策の徹底

南郷町内会 会長 鎌田 政雄

令和2年はコロナ感染拡大に伴い、南郷町内会でも恒例行事である「南郷夏祭り(万生公園)」や「日帰り親睦旅行」の中止など、町内会活動にも大きな影響があった年となりました。

こうした中で、町内会活動の拠点である「南郷会館」では、感染症対策として、会館利用者全ての方々に体温測定や手洗い消毒を行って頂いています。体温測定では、非接触型体温計を使用し、体温が37度以下であることを必ず確認するとともに、手洗い消毒に関しては、アルコール系ジェルを使用し、集合時と散会時に必ず消毒を行ってもらいました。さらに、お手洗いや台所では布タオルをやめて、紙タオルの使用としております。

また、会館での会議や話し合いの際には、着席の間隔を1mくらいになるよう、長テーブル1つにつき1.5人を保つように配慮を行いました。会議の参集人数についても、役員15名程度に抑え、時間も30分～50分程に短くするとともに、各班長への伝達は、後日連絡棚を利用して伝えるなど、密を避ける取り組みを行っているところです。

まだコロナ感染症は収束に至っておりませんので、引き続きコロナ感染症対策に留意しながら、町内会活動を進めていきたいと考えております。

コロナ禍…

南郷東町内会 会長 多田 慶一

令和2年10月現在、世界中で感染者が3,300万人以上、死者が100万人を超えかつて無い状況におののき、日頃の生活、行動も一変しています。町内会活動も、4月の定例総会が書面表決に替えたのをはじめ、小学校の視聴覚室を会場としている毎月の定例役員会も緊急事態宣言発令後、子どもたちへの感染防止を第一とし半年以上開催していません。学校側のご厚意によって、この10月から8カ月ぶりに再開できました。久し振りに役員、班長さん方の変わらない元気なお姿に接し安堵しました。年度計画による各種行事もすべて中止となり寂しく、思いもよらない町内会活動に苦慮している現状です。

マスク、手洗い、消毒、三密、ソーシャルディスタンス等、耳に聞き飽きるほどの言葉の連続、まったく先の見えない、読めない新型コロナウィルス、一刻も早い終息宣言が出て、町内会活動も従来のように活発な活動を展開されるよう望んでいます。『しばらくは、離れて暮らす“コ”と“ロ”と“ナ”つぎ逢うときは、君という字に』コ+ロ+ナ=君 という字になります。こんな短歌のように大切な人や皆と普通に早く逢える日を望み期待している毎日です。

新・本郷町内会スタイル

本郷町内会 会長 高林 榮一

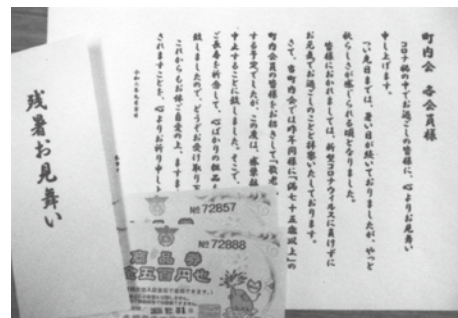
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4月から会館使用を休止しました。役員会や専門部活動等での会館使用は避けられないので、感染防止対策として「会館使用におけるガイドラインの策定」「消毒液・非接触型体温計の設置」「来館者記録簿への記入の要請」等の徹底を図りました。

9月を過ぎても、コロナ禍の終息が見通せずにいる中、以前から会館を利用していた方々から、会館使用の再開を望む声が寄せられることがあり、地域の会館としての在り方を役員会で検討しました。

10月からは、一定の条件の下での使用を認めることになりました。一定の条件とは「町内会会員が主な利用者であること」「飲食・麻雀・カラオケを含まないこと」「大人数の集まりを避けること」「会館利用に当たってのガイドラインに従うこと」などです。

町内会通信では「マスクの作り方」や「新しい生活様式としての新・本郷町内会スタイル(うつらない・うつさない・ささえあう)」を示して地域の皆様の健康を願いました。

本郷町内会 75歳以上の方に「残暑お見舞い」



コロナ禍の影響で、「敬老祝賀会」が中止になりましたので、75歳以上の会員の皆様に、これからも益々お元気で活躍されます様にと願いを込めて粗品を贈呈しました。

コロナ禍の町内会活動

本通第一町内会の取組

本通第一町内会 会長 北上 輝信

本通第一町内会では、コロナ感染拡大が進む今年3月以降、町内会だよりの発行・配布を毎月実施してまいりました。

町内会総会については、今年は4月に書面表決により実施となりましたが、5月には町内の班長・役員の合同会議を実施しております。

町内行事については、例年新年会や日帰り温泉旅行などを行っていましたが、今年はコロナの影響で中止となり、あまり行事の無い年となりました。この他、資源回収については、5人が参加し、3月、5月、7月、9月と、2カ月おきに実施しているところです。

コロナ感染症については、未だ札幌でも一定の発症者が出ている状況ですが、出来る限り対策を取りながら活動を続けていきたいと考えております。

3密を伴うもの以外は確実に実施

東友会 会長 媚山 一夫

令和2年4月19日の定期総会を端に、敬老祝賀会・温泉旅行など事業予定の一部は密を回避して中止し、36名が集まる班長会議は未だ開催出来ないものの8名が集まる役員会は毎月開催、専門部活動も資源ゴミ収集や自治会費徴収、8月5日には自治会独自の見守り開始チラシを作製回覧、9月10日は団地内の防火訓練を行い、業者依頼の団地樹木剪定、花粉症を訴える人達には一部白樺樹の伐採を市に要望、団地の草刈清掃(年2回)、10月は会計検査、12月は除雪開始など、事業は3密を伴うもの以外は確実に実施、班長会議中止もそのつど班長に連絡、全28班に中止ポスターを貼り出し自治会員や班長にお知らせしています。

回覧・市広報は毎月の班長会議当日に全班長がみつば会館へ引取りし各戸配布、更に計画外の外部通路の階段に手摺設置を実現し、高齢化が進む団地住民の安心安全の向上を高めています。コロナ禍収束が見えない中での役員・班長の特異な緊張感が続く毎日です。



手摺(5力所設置)

見守り活動をスタート

あけぼの町内会 会長 津元 克比古

あけぼの町内会では、総会の開催を中止し、総会資料を会員全戸に配布して意見を募り、議案が承認されました。5月に書面による臨時役員会議を行い、今後の行事について、公園の清掃と街路樹マスの花植・水やりについては人数を減らして実施することとし、防災訓練やこども夏祭り、日帰り旅行など各種の行事を中止することにしました。感染防止のため、回覧物は原則中止し、回覧していた町内会だよりは、全戸配布としています。6月に入り、東白石会館の使用が許可されたため、マスクの着用と消毒を行い、席の間隔を空けるなどコロナ対策を取り役員会を開催することが出来、昨年度から検討してきた高齢者の見守り活動を10月から始めています。また、各種行事が中止になったことにより、以前から要望があった屋外行事・作業用ジャンパーの更新をすることができました。



密を避け、少人数に分かれて花植え

コロナ禍の町内会活動

心の距離が離れないように

長栄町内会 会長 坂本 信一

長栄町内会は、新年会に始まり、町内の清掃、秋の日帰り旅行と会員の交流を中心に実施してきました。しかしながら、コロナ禍の状況になり、新生活様式を取り入れ、ソーシャルディスタンスが定着した昨今、行事も進化しました。心の距離迄が離れないように、秋の声掛け運動や、夜間のパトロール、防災ラジオを全戸に配布し、孤立が生じないように取り組みました。

今後は住みよい町内となりますよう心から願って、役員の皆さんと共に後継の育成に努め、歴史を引き継ぎ、時代に合った運営を模索してまいります。

芝桜の富士山を楽しみに

旭町内会 会長 山中 忠典

去年は、コロナウイルスの流行に振り回されていた一年間ではなかったかと思っております。町内会も何も活動が出来ないため、足・腰の筋力が弱くなり、頭も使わないので「ボケ」てくるような感じです。そんな時、当町内会の総務副部長から、公園の傾斜地を利用して芝桜を植えては…と提案があり、早速実行に移しました。

芝桜は町内の方から分けてもらえないだろうかと思い、毎週3回の町内パトロールの際に、芝桜が庭に溢れているお宅に声を掛け、出来るだけお金が掛からないよう配慮しました。

そうやって分けて頂いた芝桜を、なまった足・腰にはチョッピリきついものがありましたが、町内の方に「綺麗ね」と言われることを楽しみに、一週間かけて植えました。ただ植えたのでは面白くないので、富士山を想像して、白色芝桜で山々の輪郭を作り、雲の形を作り、想像たくましく植えてみました。

昨年植えた芝桜が、今年どのように咲くか楽しみにしております。



旭町内会 芝桜植え込み

東白石会館改修に伴う会館閉鎖期間とまちづくりセンター仮事務所の設置について

東白石まちづくりセンター 所長 藤瀬 弘泰

東白石まちづくりセンター及び東白石会館は、老朽化した電気・機械設備の他、正面玄関や2階集会室の窓改修などの工事のため、令和3年8月上旬から12月上旬までの約4カ月間の間閉鎖となります。この期間中は会館の貸室については利用出来ませんので、ご不便をお掛けしますがよろしくお願いいたします。

なお、まちづくりセンターにつきましては上記改修工事の間、仮事務所（現在の場所の近隣を予定）にて業務を行います。証明や町内会関係業務、回覧用配布物のお渡しは仮事務所にて行う予定です。

編集後記

今回は、未だ収束の見通しが見えないコロナ禍の中で、ご苦労されている方々に少しでも寄り添いお慰め出来ればと、東白石地区内の町内会による取り組みをご紹介しました。皆様のご健康を心よりお祈りいたします。また、今回は災害に備えて「東白石地区安心マップ」を付録とさせて頂きました。お手元に置いてご活用いただければ幸いです。